



奈良県感染症情報

令和2年第45週(11月2日～11月8日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(10月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.88	(1.85)	➡	↗	➡	↑
2	突発性発しん	0.53	(0.53)	↗	↗	➡	➡
3	A群溶連菌咽頭炎	0.26	(0.26)	↘	↘	➡	↓
4	水痘	0.24	(0.24)	➡	↘	↑	➡
5	ヘルパンギーナ	0.21	(0.79)	↓	↓	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

9月頃から増加傾向であったヘルパンギーナの定点報告数は、減少しています。

新型コロナウイルス感染症の報告数は、11月に入ってから、増加傾向が続いており、クラスターの散発も見られます。

インフルエンザの定点報告数は例年に比べ、低い水準で推移しています。インフルエンザは例年12月～4月頃に流行し、1月末～3月上旬にピークを迎えます。ワクチン接種は発症、重症化予防に有効ですが、効果は接種2週間後から5ヶ月後程度です。接種を希望する方は、早めに接種をしましょう。

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の感染経路は、主に飛沫感染ですが、接触感染でも感染します。感染拡大を防ぐため、咳エチケットを心がけ、こまめな手洗いとともに集団発生のリスクとなる3密(密閉・密集・密接)の環境回避を行うようにしましょう。また、体調が悪いときは外出を控え、無理をして学校や職場等へ行かないようにしましょう。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(令和2年10月) ◆

*ウイルス分離同日での集計結果

病原体(ウイルス)検出患者数

*令和2年10月におけるウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名	検体採取日
ライノ A	1				インフルエンザ疑い(1)	2/28
ライノ C	1				気管支炎(1)	3/2
単純ヘルペス		1			ヘルパンギーナ疑い(1)	9/14

感染症発生動向調査において、新型コロナウイルス対応のため、医療機関より提供いただいた検体の検査が遅延しております。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 45 週 11 月 2 日 ~ 8 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	3 (0.09)	1 (0.11)			2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	9 (0.26)	2 (0.22)	2 (0.22)	3 (0.43)	2 (0.33)			
感染性胃腸炎	64 (1.88)	11 (1.22)	20 (2.22)	9 (1.29)	20 (3.33)	3 (3.00)	1 (0.50)	
水痘	8 (0.24)	5 (0.56)			3 (0.50)			
手足口病								
伝染性紅斑								
突発性発しん	18 (0.53)	6 (0.67)	2 (0.22)	5 (0.71)	5 (0.83)			
ヘルパンギーナ	7 (0.21)	1 (0.11)	1 (0.11)		5 (0.83)			
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)		2 (0.67)		1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(中和5)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症12件(奈良市1、郡山11)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 水痘(入院例)1件(奈良市1)

❖ 第45週のトピックス ❖

◆緊急提言最近の感染状況を踏まえた、より一層の対策強化について
(新型コロナウイルス感染症対策分科会)(内閣官房HP)

https://www.cas.go.jp/ip/seisaku/ful/bunkakai/seifu_teigen_14.pdf

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3010
	女																						
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男			1																			1
	女					1				1													2
A群溶連菌咽頭炎	男			1						1													4
	女					2	1						1	1									5
感染性胃腸炎	男		1	6	4	1	1	8	2	6	2												38
	女	1	1	4	1	2	4	3			1	2	1		3								26
水痘	男						2	3	1														6
	女						1		1														2
手足口病	男																						85
	女																						71
伝染性紅斑	男																						158
	女																						120
突発性発しん	男	1		5	2																		8
	女		4	4	2																		10
ヘルパンギーナ	男	1		1	1	1																	4
	女			3																			3
流行性耳下腺炎	男																						15
	女																						15
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						39
	女													1		1					1		39
細菌性髄膜炎	男																						6
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女																						14
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						2
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						7
	女																						7

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

